

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主管所属	地域振興部新幹線対策課
施策名	(4) 新幹線開業に向けた戦略的取組の推進	課(室)長名	峰松 茂泰
事業群名	① アクションプラン等の策定・推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 九州新幹線西九州ルート開業に向けて交流人口の拡大など地域活性化を図るため、県民、関係団体、行政が協力し、新幹線の開業効果を見据えた取組を行います。							(取組項目) i) アクションプランの策定 ii) 新幹線開業対策事業の実施			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) フリーゲージトレインの開発遅れ等により、対面乗換方式後の整備方式が不透明となったことから、平成29年度のアクションプランの策定は見送ったものの、2022年(令和4年)度の開業が迫っていることから、平成30年度にプランを策定した。今後はプランに基づき、開業に向けた気運醸成や県内周遊のための二次交通対策に取り組んでいく。
	アクションプランの策定		目標値①	—	策定				策定(H29)	
			実績値②	—	未策定	策定			進捗状況	
		達成率②/①	—	—	—				達成	

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 (令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容))	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和元年度事業の成果等	中核事業	
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績	達成率			令和元年度事業の成果等
1	取組項目 i	新幹線開業対策事業	(R元 終了) H30-R元	7,760	7,760	15,944	県、市町、民間企業等	一般公募や人気投票など、県民が参加できるような工夫を凝らした手法で開業PRキャッチコピー及びロゴマークを作成するとともに、約500人の方々に参加頂いたお披露目イベントで発表を行ったことで、報道機関を含め多くの方々にPRすることができた。 また、新幹線駅から広域の周遊促進のため、二次交通実証運行等に向けた実施計画を作成した。	活動指標	R元:開業PRキャッチコピー及びロゴマークの作成	作成	作成	—	●事業の成果 ・開業PRキャッチコピー及びロゴマークを作成し、お披露目イベントを開催した。 ・二次交通実証運行等に向けた実施計画を作成した。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・アクションプランに基づいた県民の気運醸成及び県内各地への周遊促進の取組の一環として実施しており、プランの推進に寄与した。	○
		新幹線対策課	R2計画	7,788	7,788	15,908				成果指標	H30,R元:県民の認知度(開業年度)(%)	55	46		
2	取組項目 ii	新幹線開業対策事業	(R2 新規) R2-4				県、市町、民間企業等	開業フォーラムの開催や開業専用ホームページの作成による情報発信を通じて、県民の気運醸成を図る。また、民間団体等による地域の魅力づくりや観光資源の磨き上げ等の受入体制の構築を促進するため、市町との協調補助による支援を行う。併せて、開業効果を県内各地に波及させるため、二次交通実証運行等を行う。	活動指標	R2-3:会議開催回数(回)	10			—	○
		新幹線対策課	R2計画	39,770	39,770	15,950				成果指標	R4-7:JRIによる府県相互間旅客輸送人員[関西・中国・福岡県~長崎県(人)]				

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	<p>アクションプランの策定</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 平成30年度にアクションプラン策定済み。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>—</p>
ii	<p>新幹線開業対策事業の実施</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 開業PRキャッチコピー及びロゴマークを作成し、お披露目イベントを開催した。 開業年度に関する県民の認知度が令和元年度も46%とほぼ横ばいであったため、さらなる認知度向上を図る必要がある。 令和2年度以降の実証運行等に向けて、具体的な実証運行実施計画を作成した。 開業時の本格運行につながる実証運行等を行う必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 開業に向けた認知度向上のため、県内関係団体や行政等で構成する開業対策推進本部会議(仮称)の開催や各PTの活動等により地域と民間が一体となった取組の支援や開業PRキャッチコピー及びロゴマークの更なる活用を促進する等気運醸成を図る。 開業専用HPの作成によるSNSと連携した情報発信。 沿線自治体をはじめ県内市町と県、JR九州による開業フォーラムやレールウォーク等の開業関連イベントの切れ目のない開催等を通じて県民の認知度を高める。 効果的な実証運行等により、課題の洗い出しを行い、改善点を検討する。</p>

### 4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しがない場合は「—」と記載)	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
2	取組項目 ii	新幹線開業対策事業 新幹線対策課	R2新規	⑦	引き続き官民一体となってアクションプランの取組を進める。特に、開業カウントダウンイベントの開催等による県民への積極的な情報発信や県民参加意識の醸成に取り組み、気運醸成を図るとともに、誘客促進や満足度向上のための地域の魅力づくりや観光資源の磨き上げ等の受入体制の構築、交通事業者等と連携した県外プロモーションの実施、デスティネーションキャンペーンとの連携、周遊のための交通対策等、開業効果を高め、県内に広く波及させるための基礎となる項目に重点的に取り組んでいく。	拡充

注:「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しできているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点